

小坂井中学校



校章の由来

「中学」の文字を月桂樹（一説ではサクラ）で囲んだもの。図案は生徒から募集したものとされている。

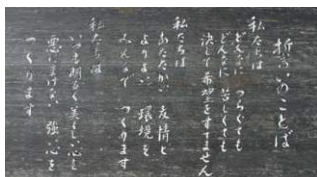
- 1947 (昭22) 旧住友金属伊奈寮跡地に、小坂井中学校発足
- 1949 (昭24) 木造校舎竣工(西側) 東側・理科室は26年に竣工
- 1954 (昭29) 鉄筋3階建校舎(第1期・2期)竣工
- 1959 (昭34) 伊勢湾台風の被害甚大 野球部県大会準優勝
- 1961 (昭36) 南校舎第3期竣工 戦後生まれ初の卒業生巣立ち
- 1963 (昭38) 生徒会により、「誓いの言葉」を作成
- 1964 (昭39) 東京オリンピック聖火リレー小坂井町を通過
- 1966 (昭41) 給食室完成、完全給食実施 吹奏楽県大会優勝
- 1970 (昭45) 現在の体育館竣工 中山彰規選手模範演技 校舎前通路へ银杏植樹
- 1972 (昭47) 現在のプール竣工
- 1977 (昭52) 弓道部県大会優勝、野球部県大会準優勝
- 1980 (昭55) 現在の鉄筋2階建て北校舎竣工
- 1981 (昭56) 現在の武道館竣工 格技施設の充実県下一
- 1983 (昭58) 管理棟(現在の職員室等)竣工
- 1986 (昭61) 吹奏楽東海大会優秀賞
- 1989 (平元) 臨時生徒総会で校則改正 男子頭髪清潔で中学生らしいものへ変更 剣道部全日本選抜剣道大会出場(女子)
- 1990 (平2) 宝飯郡に英語指導助手との授業開始
- 1991 (平3) 立志関連行事「渥美半島表浜40km歩行」始まる 自然教室始まる 宝飯郡中学生海外派遣事業(カナダ)始まる(坂中13名)
- 1996 (平8) 全国少年武道錬成大会(弓道)に男女とも出場
- 1997 (平9) 創立50周年記念式典 武道館に校名文字・校章を設置
- 1999 (平11) 小坂井おやじの会が、愛知県で最初に発足
- 2000 (平12) 2年生立志関連行事として、職場体験学習実施 陸上部ジュニアオリンピック全国大会で活躍
- 2004 (平16) 全国少年弓道錬成大会(日本武道館)女子団体優秀賞
- 2005 (平17) 全国中学校弓道大会(明治神宮)男子団体準優勝
- 2010 (平22) 豊川市との編入合併により、豊川市立小坂井中学校と改称



発足当時の校舎



校訓「自主」



誓いの言葉

昭和38年5月、誓いの言葉選定会議が開かれた。坂中をよい学校にしていこうと、全校生徒から言葉を募って作り上げたものである。この誓いの言葉は、その後の生徒会活動の源となり、あいさつ運動や美化活動に発展した。そして、卒業後も、人生を支える言葉となり、坂中生の心に宿っている。



校舎風景



東京オリンピック聖火ランナー



伝統ある陸上競技部



昭和36年当時の体育大会



TDB校歓迎会



昭和58年航空写真

敗戦混乱の小坂井町に、昭和22年4月、旧住友金属伊奈寮の寄宿舎を借用して開校。1年生193名・5学級、2年生110名・4学級、3年生44名・1学級の10学級、全校生徒数347名で町内唯一の中学校としてスタートした。

昭和50年代から平成の初めにかけては、生徒数900名を超えていた。昭和59年の1144名をピークに減少に至り、平成27年5月現在、生徒数は628名である。

校訓「自主」と「誓いの言葉」を全生活領域で具現化し、実践力のある、心身ともに健全な生徒の育成を期している。また、カナダの中学校との交流を続け、国際感覚豊かな生徒の育成にも力を入れている。

学び舎の歴史展の取材や坂中祭での発表を終えて

卒業生の野田さんと中村さんにインタビューして、教育の仕方が昔と今とは全く違い、厳しそうだなと感じました。坂中周辺も今は家がたくさん建っていますが、昔は全くないことに驚きました。友達に連絡するのも、当時は電話が普及しておらず、わざわざ走って伝えに行ったそうです。今の私たちはすごく恵まれているんだなと実感しました。(生徒感想)

